



雪小だより

1月号

令和6年1月9日
大田区立雪谷小学校
校長 八木 貴広

<http://www.ota-school.ed.jp/yukigaya-es/index.html>

一年の計

校長 八木 貴広

新年あけましておめでとうございます。保護者、地域・関係諸機関の皆様方には、穏やかな新年をお迎えのことと存じます。今年も引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

冬の水一枝の影も欺かず 草田男

草田男昭和一桁の作品で、虚子たちと武蔵野を吟行した際に詠んだものだそうです。寒い季節に寺社を詣でると、決まってこの一句を思い出します。冬の厳しい冷え込みと深い静けさで満ちた境内。手水鉢の水面にくっきりと映る裸木の枝模様の繊細さ。草田男が見たのも、おそらくそういった情景だったのでしょうか。「水辺の枝の細かな樹木が、その儘の姿を水鏡の上に（中略）瞭然と、切ないほど瞭然と映して居る」（吟行記）^{※1}。その儘の姿が水面に映っている、それも、そうでしかあり得ない姿としてであるがゆえに、草田男は切なさを感じ取りました。草田男の写生は、自然が見せる誠の生々しさを怖いほど鋭くとらえながら、やはりどこかで人間のあり方を見つめているように私には思えます。というのも、この句は、景色を写し取っているように見えながら、直後に反転し、読み手の心のあり方やものの見方を問い返しているように読めるからです。君からの見え方はどうだとばかりに。こちらにも逆問い、バイアスゼロで周囲を見ることが、はたしてできるものなのかと。

一昨年夏、部屋でラジオを聞くともなくつけっぱなしにしていました。何やら人生相談のような番組が始まりました。喋っているのは占い師で、リスナーからの電話相談に対して、その場で占いをしてアドバイスらしきことを話すのです^{※2}。相談の内容は、自分は「最近運が悪いので、幸運を招くためにはどうしたらよいのか」というものでした。それに対する占い師の回答には心底驚きました。はじめて聞く考え方で、あまりにも予想外だったからです。占いを通して幸運を招くというと、〇〇色のものを身に着けるだとか、部屋の中に何かを置くだとか、どんな因果関係があるのか分からないことが返ってきそうです。しかし、答えは全く違うものでした。「最近運が悪い」という相手に、こう返したのです。「運が悪いというのは、他人の悪い面ばかりが見えている状態です」。この回答を聞いて、その切り口の意外さに驚き、思わず声を上げラジオを見つめました（見つめても仕方ないが）。なるほど、望んでいることとは逆のことが起こっている。運が悪い。それは、周りが阻害しているからだ。そういうものの見方は誰にでもあって、しかも割と無自覚なままでのものなので、指摘されると虚を突かれた気持ちになります。周りをどのように見たらよいのでしょうか。

2学期の雪小では、生活指導部が中心になり、「みんなが安心して過ごせる学校にしよう ふわふわ言葉でいっぱいになろう」という目標を考えました。言葉を大切に育てたい。人を思いやる子に育てたい。そのためには、人に思いやられていることに気づかせよう。人の嬉しさをたくさん読めるようにして、他者理解や共感の基礎を養おう。かけてもらって嬉しかった言葉を、子どもたち自身が花びらシートに書いて貼れるようにしました。校内3か所にある桜の裸木は、あっという間に花びらで満たされました。子どもたちはどんな言葉が嬉しいのでしょうか。全体の4割近くを占めたのは、「ありがとう」でした。相手から返ってくる「ありがとう」の言葉は、自分の善意や好意を受け止めてくれたという証でもあるのです。つまり「ありがとう」の言葉は、本質的に相互的なものであって、互いに相手を受け入れることなしには皮肉でもない限り出てこない。「ありがとう」は安心の土台なのかもしれません。



昨秋ふと思立って、「その日最も感心したことや嬉しかったことを一日一つ一文で記録」し続けています。後になって読み返してみると、日々は決して単純なルーティンに収まるだけのようなものではなくて、心を潤してくれるようなことが毎日起こっている密度の濃いものだというところにあらためて気づかされます。それも、私の場合、自分がしたことではなくて、子どもたちから気づいたことや、子どもたちにしてもらったことが圧倒的に多い。一年の計は元旦にあり、ということで、今年の心の計画として、一日一つ一文を続けようと思っています。自分の生活の豊かさが、子どもたちの喜ばしい姿の記録数と比例しているようで我ながらおもしろいからです。くだんの占い師は、別のところでこんなことも言っています。「この世はあなたを楽しませることで満ちている」。

※1 <http://miho.opera-noel.net/archives/2127> から孫引きです。

※2 ニッポン放送ラジオ ゲッターズ飯田『ラジオで占いまSHOW』

1月の目標

挨拶や 言葉遣いを 正しくしよう

1	月	元日
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	冬季休業日終
6	土	
7	日	
8	月	成人の日
9	火	始業式 午前授業 席書会 (5・6年) SC
10	水	計測 (6年) 席書会 (3・4年) 安全指導日 給食始め
11	木	計測 (5年) 委員会活動 SC
12	金	運動朝会 (6年) 避難訓練 (不審者) 計測 (4年) SC
13	土	ものづくり教育学習フォーラム
14	日	
15	月	放送朝会 校内書初め展 (始) 計測 (3年)
16	火	計測 (2年)
17	水	学習タイム 午前授業 計測 (杉の子)
18	木	計測 (1年) クラブ活動
19	金	運動朝会 (5年) 計測 (欠席者) SC
20	土	土曜授業日 土曜補習 (3・4年)
21	日	
22	月	放送朝会 計測 (欠席者)
23	火	
24	水	学習タイム 補習 (3・4年) 午前授業 (4年1組は5時間授業)
25	木	クラブ見学 (3) クラブ活動
26	金	運動朝会 (2年) 校内書初め展 (終) SC
27	土	
28	日	
29	月	放送朝会
30	火	SC
31	水	学習タイム 午前授業 算数補習 (5・6年)

2年生の窓

2年担任

2学期は、運動会、生活科見学、音楽会と、たくさんの行事があり、行事を通して大きな成長を感じました。

運動会では、目標に向かって頑張り、やり遂げる喜びを味わうことができました。友達と声を掛け合い、隊形移動も成功させました。

生活科見学では、グループで「木のビンゴ」をしました。見つけたことを教え合ったり、次は何を見つけるか相談したり、協力して取り組む姿が頼もしかったです。

音楽会では、一人一人が役割をもち取り組む中で、自分で考えて動く力が育ちました。努力を重ね、みんなでオペレッタを作り上げたことは、大きな自信につながりました。

3学期は、1年間のまとめの学期です。これまでの学習や活動の中で育んできた力を確かなものとし、3年生へとつなげます。

書初め展

国語部

1/9(火)、10(水)に席書会を行います。

一、二年生は教室にて硬筆で、三年生以上は学年全員が体育館で一堂に会して書道を書きます。

校内書初め展が1/15(月)~1/26(金)を行います。各クラスの前に書初めの作品を掲示しています。

会期中は土日と1/15(月)、17日(水)、24日(水)をのぞき、当該学年児童下校後から16:15までの公開です。

鑑賞していただく際は、作品にお手を触れぬよう、また撮影された静止画等はSNS等へアップされることがないように、お願いします。

ふわふわ言葉でいっぱいになろう

生活指導部

「みんなが安心して過ごせる学校にしようプロジェクト」が発足して2か月が経過しました。学校中を「ふわふわ言葉」でいっぱいになろうという目標の元、3つの取り組みを行いました。

一つ目は、「ふわふわ言葉の木」です。校長室前、第一・第三昇降口に掲示してあります。初めは枯れ木でしたが、今では多くのふわふわ言葉で満開の木になりました。

二つ目は、「朝の挨拶運動」です。昇降口前で、子供たちの元気な挨拶が飛び交っていたのが印象的でした。

三つ目は、「一日一善『ありがとう』の取り組み」です。一日に一回は「ありがとう」と言ってもらおうという取り組みで、「ありがとうボックス」を設置しました。やってもらって嬉しかったことなど書くと、昼の放送で紹介され、子供たちも嬉しそうに聞いていました。

このような取り組みを通じて、今後も子供たちが安心して過ごせる学校を目指していきます。